

2026 年 8 月 1 日

草津市、立命館大学と家事を通じて家族の関係性を育む体験を共創

くらしをサポートするサービスによる効果を共同で検証



パナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、滋賀県草津市（以下、草津市）、立命館大学と共同で、家庭における「洗濯」を切り口とした家族の行動および関係性の変容に関する実証実験を、2026 年 10 月 5 日より草津市内の子育て世帯を中心に実施します。

近年、共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化により、家族で過ごす時間の大切さがますます高まっています。多くの家庭では、それぞれが日々のくらしに満足しながらも、忙しい毎日の中で、家族同士がより心地よく関わり合い、お互いを認め合える機会へのニーズも高まっています。家族がお互いを思いやりながら自然に協力し合い、より良い関係を築いていくことは、家庭のウェルビーイング向上につながると考えられます。また、子どもにとっても、家庭での生活を通じて自分でできることを少しずつ増やし、「できた！」という成功体験や自信を育むことは、将来の成長につながる大切な経験です。

本実証実験は、2025 年 8 月に草津市、立命館大学、パナソニックが締結した「ウェルビーイングの向上と地域の活性化に関する協定」に基づき実施するものです。「洗濯を『ただの家事』から『家族の関係性を育む体験』へ変える」というコンセプトのもと、生成 AI を活用した衣類ケアサポートサービスと、家族のくらしを整える音声パートナーサービスを提供します。子どもの自立意識の芽生えや家事担当者の負担軽減、家族内コミュニケーションの改善などについて、家族心理学が専門の立命館大学総合心理学部 宇都宮博教授の協力のもと、学術的知見に基づき検証します。

パナソニックは今後も、革新的な技術開発とその活用を通じて家電の性能・機能を超えた体験価値を創出し、草津市、立命館大学とともに、ウェルビーイングの向上と地域の活性化に貢献していきます。

【実証概要】

以下の 2 つのサービスを提供し、洗濯を中心とした家事を通じた家族の関係性向上に関する学術的エビデンス取得および仮説検証を実施

- ・生成 AI を活用した衣類ケアサポートサービス
- ・家族のくらしを整える音声パートナーサービス

【主な検証視点】

- ・子どもが家庭での生活に興味を持ち、自ら身支度や片付けに取り組む機会の増減
- ・音声による働きかけや家族内での役割共有を促すことで、注意・指示中心のコミュニケーションから、褒め合う・認め合う関係性への変化
- ・洗濯に関する提案や声かけをきっかけにした、家族間の家事や衣類ケアに関する対話への影響
- ・家事担当者の負担感の軽減

【対象】

草津市在住で、対象機種^(※1)を所有する、お子さまがいるご家庭^(※2)

【実証期間】

2026 年 10 月 5 日(月)～11 月 29 日(日)予定

【告知方法】

2026 年 8 月 1 日(土)より、共催イベントを通じたオンライン配信および紙面による告知

【応募方法】

2026 年 8 月 3 日(月)より、下記サイトまたは QR コードより申し込み

※ 株式会社マクロミルのアンケートサイトにつながります。予定の応募数に達し次第終了します。

<https://www.net-research.jp/1329154/>



【各主体の役割】

■ 草津市

- ・ 共催イベントおよび本実証実験の告知支援
- ・ 地域連携および情報発信活動への協力

■ 立命館大学

- ・ 総合心理学部 宇都宮博教授の協力のもと、「家族心理学」に基づく仮説検証および学術的知見による効果検証

■ パナソニック

- ・ 実証実験の企画および全体運営
- ・ サービスの開発・提供

※1: パナソニック製ドラム式洗濯乾燥機 LX シリーズ(2024 年度～2025 年度発売モデル)

NA-LX127D、NA-LX127E、NA-LX129D、NA-LX129E

各品番の末尾には、L または R がつく場合があります。

※2: 応募状況に応じて、草津市外にお住まいの方にもご参加いただく場合があります。

<募集に関するお問い合わせ先>

■ パナソニック株式会社: info-kurashi@gg.jp.panasonic.com

<報道機関からのお問い合わせ先>

■ パナソニック株式会社 広報部: pchq_prstaff@ml.jp.panasonic.com

以上